



北海道支部ニュース 第63号

公社) 日本分析化学会北海道支部 2021 年 7 月

巻頭言

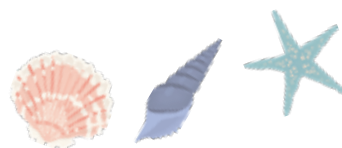
公益社団法人日本分析化学会 北海道支部支部長
蠣崎 悌司 (北海道教育大学札幌校)

伝統ある日本分析化学会北海道支部の支部長を昨年に引き続き今年も務めさせていただきます。新型コロナウイルスの蔓延の勢いは未だ収まらぬ状況にありますが、会員の皆様は如何お過ごしでしょうか。この一年半、大学では学生は対面授業を十分に受けることができず、授業者もこれ迄の積み重ねに基づいた内容を講義できないなど、卒業研究も含めて、心苦しい毎日を送っています。昨年は例年実施されている北海道支部事業をほとんど実行できませんでしたが、本年度はこのような状況をふまえて実施できる事業形態を模索することになります。また、経費削減と投票率向上を目的として役員候補者選考委員選挙の電磁記録投票を試みます。Web サイトでの投票を当初に思案しましたが、情報セキュリティに対する配慮から、投票方式を従来の紙媒体の郵送から投票フォームの電子メールによる提出に変更致します。次年度以降はさらなる改善を期待したいところです。

さて、本部理事として出席している理事会について少しお話いたします。2020 年度は臨時を含めて 10 回の理事会が Web 形式で開催されました。対面形式ではないので本部へのアクセスは必要なく欠席者はほとんどおりません。討議や投票は円滑に行われておりますが、皆様のお顔を知ることができずに、寂しい気持ちも少しありました。例年の議事内容と異なることは、新型コロナウイルスの蔓延の影響によるキャッシュフローの状況と対応、Web 会議を利用して学会賞等受賞者の審査を行った報告、年会および討論会の Web 開催などがありました。10 年後の会員は現在の半分程度の 3000 人規模になることが予想され、それに見合った事業の見直しについて「タスクフォース答申のタスク管理」が承認され、これ以後、学会の維持に向けて事業の見直しを現実化する段階に入ることになります。

(かきざき・ていじ)

これからの行事予定



2021 年 公開セミナー (対面+オンライン)

今年度のセミナーは、「対面形式」+「オンライン形式」=「ハイブリッド形式」で実施する予定であり、その内容も、「北海道の林産振興・酪農発展に寄与する研究(フィールド近!)」+「気候変動を読み解くための氷床コア分析に関する研究(フィールド遠!)」と、これまた「ハイブリッド」となっています。気鋭の研究者による大変興味深いお話を伺うことができます。日程等の詳細が決まりましたら、メール配信等で皆様にご連絡を差し上げたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

日時：2021 年 11 月 中旬～下旬(詳細日程は決まり次第ご連絡致します。)

場所：旭川工業高等専門学校(対面+Web形式)

内容：「北海道における木質粗飼料の研究開発と実用化」(仮題)

北海道立総合研究機構 林産試験場 利用部 微生物グループ 研究主任 檜山 亮 先生

「アイスコアの分析からわかる過去の気候変動」(仮題)

情報・システム研究機構 国立極地研究所 気水圏研究グループ 特任研究員 大藪幾美 先生

(旭川工業高等専門学校・古崎 睦)

2021 年 北海道地区化学教育研究協議会

本会は北海道立教育研究所附属理科教育センターと日本化学会北海道支部化学教育協議会により準備運営され、日本化学会および日本分析化学会両北海道支部から支援されている行事です。昭和 30 年代初頭から 60 年以上に渡って開催されています。化学教育に関する特別講演のほか、小中

高校大学で化学教育に携わっている先生の提言も行われます。

昨年度はコロナウイルス感染拡大の影響により中止となりましたが、本年度は Zoom によるオンラインでの開催に向けて準備を進めています。多くの皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

主催：日本化学会北海道支部、日本分析化学会北海道支部、日本化学会教育・普及部門

後援：北海道教育委員会、札幌市教育委員会、北海道高等学校長協会、北海道小学校理科学研究会、北海道中学校理科教育研究会、北海道高等学校理科学研究会

日時：2021 年 11 月 13 日(土)10:30~16:30(予定)

開催方法：Zoom を用いたオンライン形式

協議主題：「理科(化学)教育における小・中・高・大学での取り組み」

特別講演：演題「未定」国立教育政策研究所 教育課程調査官 神 孝幸 氏

提言：小学校、中学校、高等学校および大学の各教員等による協議主題に関する提言

自由討論：「小・中・高・大学での研究実践と課題に関する討論」(1 時間程度)

参加費：無料

懇親会：本年度は実施しません。

申込先：〒069-0834 江別市文京台東町 42 番地 北海道立教育研究所附属理科教育センター内
北海道地区化学教育研究協議会係 高橋 伸元

TEL: 011-386-4534, FAX: 011-386-4977

E-mail: takahashi.nobuyuki3@pref.hokkaido.lg.jp

申込方法：メールか FAX でお申し込みください。

申込〆切：2021 年 11 月 1 日(月)

その他：通信負荷の関係上、先着順で申し込みを打ち切ることがあります。参加者名簿作成の都合により上記を〆切としますが、空きがある場合には当日参加扱いで受け入れますので、上記連絡先までお問い合わせください。
(北海道大学大学院工学研究院・谷博文)

これまでの終了行事報告

2020 年 公開セミナー (オンライン)



2020 年 12 月 10 日(木)に公立千歳科学技術大学がホストとなって、初のオンライン (Zoom) による公開セミナーを開催致しました。本セミナーでは、『骨の評価』をテーマに掲げ、3 名の先生からお話を伺うことができました。

最初は、長谷川智香先生(北海道大学大学院歯学研究院硬組織発生生物学教室)から、「骨組織の顕微解析法」という演題でご講演いただきました。さまざまな顕微鏡で観察された、骨の美しい顕微鏡画像を見せていただきながら、他分野の学生にもわかりやすく、お話しして下さいました。

次に、松川真美先生(同志社大学理工学部超音波エレクトロニクス・応用計測研究室)から、「医工連携で骨を診る—新しい超音波骨診断手法の

開発—」という演題で、骨の超音波計測に関する基礎から応用についてご講演いただきました。お話の中で、産学連携によって開発された超音波骨密度測定装置についてもご紹介いただき、研究のご苦労なども伺うことができました。

最後に、東藤正浩先生(北海道大学大学院工学研究院機械・宇宙航空工学部門人間機械システム)から、「骨アパタイト・コラーゲン構造の力学挙動分析」についてご講演いただき、アパタイトと

コラーゲンからなる骨複合構造の力学特性について詳細な話を伺うことができました。

初めてのオンラインセミナーということで、どうなることか心配でしたが、講演参加者は 52 名、オンラインのメリットである遠方からの参加もあり、質疑

応答も大変白熱したものになりました。一演題に 5～10 分程度の質疑応答時間を設けましたが、参加者からはもっと時間が欲しいとのリクエストがあり、懇親会も含め、今後検討する必要性を感じました。

(公立千歳科学技術大学・木村・須田廣美)

第 56 回 氷雪セミナー (中止)

第 56 回氷雪セミナーは、2021 年 1 月初旬の連休中の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス蔓延の影響の、感染症拡大防止と会員の皆様の健康を第一に考え中止とさせていただきました。現在においても、ワクチン接種も開始されたものの未だ先行きが見通せない状況であり、本年度の氷雪セミナーの開催の可否も不透明ではありますが、オンサイトでの開催のみならずオンラインでの開催も検討しております。開催の折には、皆様奮ってご参加いただけますようよろしくお願い申し上げます。

(北海道大学大学院理学研究院・三浦篤志)

化学系学協会北海道支部 2021 年冬季研究発表会 (オンライン)

化学系学協会北海道支部 2021 年冬季研究発表会 (共催：表面技術協会・日本分析化学会・日本化学会・触媒学会・電気化学会・腐食防食学会・石油学会の各北海道支部) が、2021 年 1 月 26 日 (火)・27 日 (水) の両日、Web システムと ZOOM を使用したオンライン形式で開催されました。

新型コロナウイルスの影響で、Web システムとビデオ会議システム ZOOM を用いたオンライン形式で開催されました。152 件の一般講演 (口頭発表 98 件および Web ポスター発表 54 件) と 1 件の特別講演が行われ、活発な質疑応答や議論がありました。特別講演には、物質・材料研究機構の知京豊裕先生をお招きし、「データ駆動型材料開発の現状とスマート化への潮流」と題してご講演頂きました。

また例年通り、学生の講演に対して優秀講演賞が選定され、2 月 2 日オンライン形式で授賞式が行われて受賞者へ表彰状が授与されました (口頭発表 9 件、ポスター発表 4 件)。参加登録者数は 386 名でした。残念ながら例年行われている懇親会は開催をすることができませんでしたが、学会がビデオ会議システムを用いてオンラインで開催されたことにより、遠方からの参加も容易に行えたことは良かったと言えます。また、例年北海道大学の学術交流会館や近隣施設で行われることが

多かったのですが、北海道大学の参加者が少々の会議などでも一度会場を離れることにより聴講者が少なくなってしまうこともありましたが、今回は絶えず多数の参加者が積極的に参加し、活発な議論が行われていた印象もあり、対面で開催されなかったことが必ずしもネガティブな印象としては残りませんでした。参加したいときにいつでも参加できるビデオ会議システムの利点でもあります。今回も要旨集の電子化、参加申込の web 登録、プログラム集の廃止が踏襲され、経費削減と実行委員の負担が軽減されました。

今年の冬季研は、全体の発表件数に占める「分析化学・センサー」関連の講演件数が 8% (8 件) と例年よりも少なかったのですが、次回は日本分析化学会北海道支部が仕切りますので、積極的に発表を申し込まれるようご協力お願い申し上げます。今後も冬季研の運営にご理解頂けましたら幸いです。

(北海道大学大学院理学研究院・上野貢生)

第 37 回 分析化学緑陰セミナー (中止)

第 37 回 分析化学緑陰セミナーを開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発令に伴い、本年度も開催中止と判断いたしました (北海道支部 HP に掲載)。新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進んでいる国は、日常を取り戻しつつあるようです。来年度は、現在の状況が改善して、皆様と活発な議論ができることを期待しています。

(北海道大学大学院工学研究院・真栄城正寿)

2020 年度 会計報告の概要

支出		収入	
臨時雇賃金	240,000	支部費	781,600
会議費	608	印税収入	20,868
旅費交通費	13,560	受取利息	20
通信運搬費	54,810	収入合計(A)	802,488
消耗品費	42,386	当期収支差額(A-B)	320,441
印刷製本費	25,047		
貸借金	4,235		
支払負担金	2,200		
支払助成金	45,000		
内部支払助成金	33,411		
表彰費	20,240		
雑費	550		
支出合計(B)	482,047		



2021 年度 支部役員

支部長	蠣崎悌司(北海道教育大学)
副支部長	渡慶次学(北海道大学)・坂入正敏(北海道大学)
庶務幹事	菅正彦(北海道教育大学)・三原義広(北海道科学大学)
会計幹事	三浦篤志(北海道大学)・石田晃彦(北海道大学)
監事	伊藤慎二(元北海道科学大学)・宇都正幸(北見工業大学) ほかに、参与 14 名・幹事 40 名

2021 年度 北海道支部事業計画

開催日	事業名	開催地	担当
4 月 23 日(金)	第 1 回幹事会(Web 会議)	札幌	支部長
6 月中旬	第 37 回分析化学緑陰セミナー(中止)	札幌	真栄城正寿
	若手交流事業(中止)		
7 月 17 日(土)	2021 年夏季研究発表会(オンライン)	函館	大木淳之
7 月下旬	支部ニュース第 63 号	-	羽深昭・沼田ゆかり
8 月上旬～	2022 年度役員候補者選考委員選挙	-	支部長
9 月中旬	2022 年度役員候補者選考委員会	札幌	支部長
10 月上旬	第 2 回幹事会	札幌	支部長
10 月上旬	2022 年度学会賞等受賞候補者推薦及び 2021 年度北海道分析化学各賞受賞者選考委員会		
11 月 13 日(土)	北海道地区化学教育研究協議会	札幌	谷博文
11 月予定	2021 年度公開セミナー(対面+オンライン)	旭川	古崎睦
12 月中旬	支部ニュース第 64 号	-	羽深昭・沼田ゆかり
1 月上旬	第 57 回氷雪セミナー(検討中)		三浦篤志
1 月中旬	化学系学協会北海道支部 2022 年冬季研究発表会	札幌	上野貢生・谷博文
2 月下旬	2021 年度北海道分析化学各賞授賞式	札幌	支部長
	審議会(第 3 回幹事会)		

編集後記

支部ニュース第 63 号をお届けいたします。この度、ご多忙の中、ご執筆頂きました蠣崎支部長をはじめ執筆者の皆様には、この場を借りまして厚くお礼申し上げます。本号から、羽深 昭(北海道大学、再任)と、沼田ゆかり(小樽商科大学、新任)の二人体制で編集を行なっています。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、残念ながら中止となりました行事もございますが、北海道支部の活動がますます活発になりますようにニュースを通じて貢献したいと思います。

今回、新入会の皆様を迎え、今後も益々活発な支部活動となるように尽力してきたいと思いますので、今後とも、ご指導ご鞭撻いただければ幸いです。
(編集委員：羽深 昭、沼田ゆかり)

公益社団法人日本分析化学会北海道支部事務局 札幌市北区あいの里 5 条 3 丁目 1 北海道教育大学札幌校化学教室内

支部長 蠣崎悌司

TEL 011-778-0685 E-mail jsac-hb@w9.dion.ne.jp

URL <http://www.jsac.or.jp/~hokkaido/index.html>

北海道支部ニュース 第63号

編集・発行 (公社)日本分析化学会北海道支部

発行日 2021 年 7 月 20 日